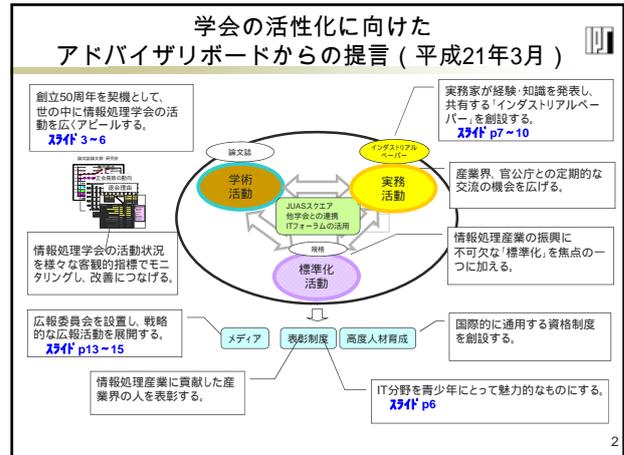


1.平成21年度事業報告



平成21年度 主な活動成果 (1) (p.1)

創立50周年記念事業の推進

～会員サービスの一層の向上と社会への還元～

- (1) 記念全国大会の開催
 - (2) 論文誌・研究会活動のオンライン化
 - (3) 次世代型ハンドブックの刊行
 - (4) コンピュータ将棋とトッププロ棋士との対局
 - (5) 50年史、記念会誌、記念論文、記念式典
- (1) は次頁、それ以外は22年度計画を参照

創立50周年記念全国大会 (1) (p.5)

会期:2010年3月9日～11日

会場:東京大学 本郷キャンパス

テーマ:コンピュータの無い社会を想像できますか?

聴講参加無料

総参加者数:7,150名

(過去の参加者数は2,000名前後)

創立50周年記念全国大会 (2)

過去最大規模

一般セッション:382件 学生セッション:1,413件
デモセッション:27件 併設イベント:17トラック

東京大学本郷キャンパスを中心に開催

3月8日(月)	情報大航海シンポジウム 言語処理学会チュートリアル
3月9日(火) ～ 3月11日(木)	情報処理学会本大会、 言語処理学会年次大会本大会、 ソフトウェアジャパン2010
3月12日(金)	計算科学技術と次世代スーパー コンピューティング基盤、 情報爆発シンポジウム



記念全国大会で、IT分野を青少年にとって 魅力的なものにする

- イマジンカップ(マイクロソフト主催)を共催
- 中学・高校生ロボットコンテスト「ロボットを作ろう、動かそう」(ベネッセ・マイクロソフト主催)を共催
- 学生の講演発表をエンカレッジ



50周年を記念して始めることになった全国大会の特別企画として、「情報処理学会推薦卒業論文」「情報処理学会推薦修士論文」の情報処理学会による認定を以下の要領で行いますので、今年度、卒業論文・修士論文を執筆される方は、ぜひご発表へ応募ください。

平成21年度 主な活動成果 (2) (p.1, p.65)

実務家の経験・知識の発露の場としての
「デジタルプラクティス」の創刊 (1)

- 2月15日創刊
- 季刊(1月, 4月, 7月, 10月)
- Webサイト上で無料公開
- 2月3日プレスリリース
- 記念大会, JUAS等で配布周知



実務家の経験・知識の発露の場としての
「デジタルプラクティス」の創刊 (2)

- 実践中心で社会的有用性を重視
- キーワードや技術分野の例:
Web アプリケーション, クラウドコンピューティング,
標準規格とIT とビジネスモデル, セキュリティ,
情報システム構築とプロジェクト管理, CIO/CTO,
教育, 要求仕様書, サービスサイエンス, ICカード,
組込みシステム, IT系コンサルティングなど

実務家の経験・知識の発露の場としての
「デジタルプラクティス」の創刊 (3)

- 刊行スケジュール (「」内は特集)

創刊号 「サービスサイエンス」
 2010年 4月 「事業活きる標準化の力」
 2010年 7月 「ICカードが社会を変える」
 2010年10月 「価値を抜き出すコンサルティング」
 2011年 1月 「XMLの勤どころ」
 2011年 4月 「世界に自慢できる
日本のソフトウェア(仮)」

記念大会・デジタルプラクティスの広報



平成21年度 主な活動成果 (3) (p.1)

高度IT人材資格制度への取り組み

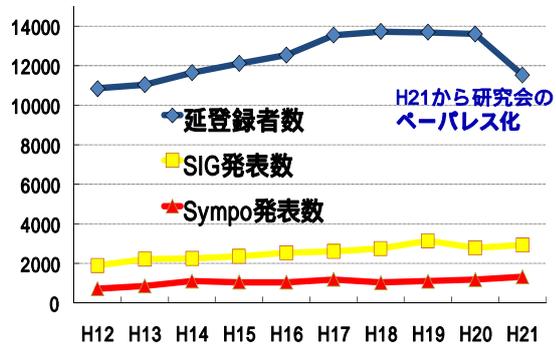
- 基本方針
 - ・ITSSに準拠した認証制度とする。
 - ・国際的に通用する資格とするため、海外動向をウォッチする。
 - IFIPが設けたIT人材資格制度の国際的枠組みであるIP3に加盟し、ボードメンバーとなっている
- 制度設計WGにより、認定スキームの設計検討を推進中

平成21年度 主な活動成果 (4) (p.2)

アドバイザーボードからの提言に基づくアクションプランの推進

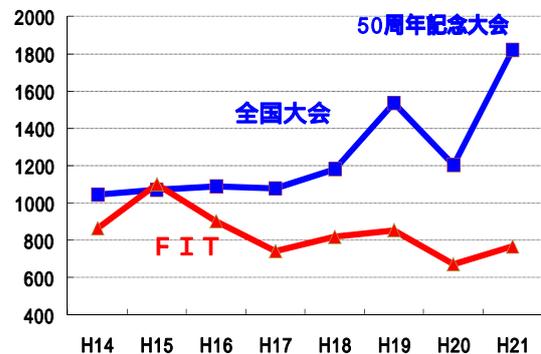
- 学術・実務・標準の3焦点が集う場の設定
 - JUASスクエア2009への講師派遣
 - ソフトウェアジャパン2010での 情報処理振興機構 (IPA), 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS), 情報サービス産業協会 (JISA) 等との連携企画
- ダイバシティの取組み: 記念大会パネル
「CHANGE! Yes, we can!
Past, Present, Future of Women in IT」
- 青少年向け活動の推進 (前述スライド6参照)

【参考】研究会（登録数・発表数）



19

【参考】全国大会・FIT講演数



20

2. 平成21年度決算報告

情報処理学会 21

平成21年度決算について

新々公益法人会計基準への変更

- 法人全体の貸借対照表と正味財産増減計算書（損益計算書）が基本。
- 従来 of 会計区分の情報は内訳表に移行。
- 内訳表区分は一般社団法人の事業区分に対応。
- 収支計算書は内部管理資料として作成。

情報処理学会 22

平成21年度貸借対照表 (p.43)

	21年度	20年度	増減
	(単位:千円)		
資産	1,203,534	1,206,218	-2,684
流動資産	277,745	465,344	-187,599
固定資産-特定資産	863,892	671,207	192,685
固定資産-その他	61,897	69,667	-7,770
負債	213,435	243,688	-30,253
流動負債	141,334	173,960	-32,626
固定負債	72,101	69,728	2,373
正味財産	990,099	962,530	27,569

情報処理学会 23

前年度からの主な増減要因 (p.43)

	増減	単位:千円
[資産]	2,684 減	
・現預金減:	181,595 (積立資産化ほか)	
・未収金減:	12,254 (受託未収額 減ほか)	
・特定資産増:	192,685 (積立資産の増額) ほか	
[負債]	30,253 減	
・未払金減:	25,212 (年度内の支払完了による減)	
・前受金減:	7,902 (会費収入減ほか) ほか	
[正味財産]	27,569 増	

情報処理学会 24

平成21年度正味財産増減計算書 (p.45)

		(単位:千円)		
		21年度	20年度	差異
経常増減	経常収益	746,778	793,185	-46,407
	事業収益	524,782	559,874	-35,092
	受取会費ほか	221,996	233,311	-11,315
	経常費用	720,467	758,136	-37,669
	事業費	654,999	660,674	-5,675
	管理費	65,468	97,462	-31,994
	経常増減	26,311	35,049	-8,738
	経常外増減	1,258	6,601	-5,343
	当期正味財産増減	27,569	41,650	-14,081

情報処理学会 25

前年度からの主な増減要因 (p.45)

[経常収益]	46,407 減	単位:千円
受取会費減:	7,396 (会員減)	
事業収益減:	35,092 ほか	
- 受託・補助金減	33,408、論文掲載収益減	20,625
- ペーパレス化による研究会登録費の低減	18,089 ほか	
- 記念大会広告・国際会議参加費増	47,950	
[経常費用]	37,669 減	
- 受託等関係経費減	38,333、論文掲載経費減	13,629
研究会ペーパレス化経費減	22,756 ほか	
- 記念大会・国際会議経費増	40,689	
[経常増減額]	8,738 減	

情報処理学会 26

3. 平成21年度監査報告

監事監査報告 (p.63)

独立監査人監査報告 (p.64)

情報処理学会 27

4. 平成22年度事業計画

情報処理学会 28

平成22年度 重点活動 (1) (p.65)

50周年(平成22年)記念事業の推進
～会員サービスの一層の向上と社会への還元～

- (1) 論文誌・研究会活動のオンライン化
- (2) 次世代型ハンドブックの刊行
- (3) コンピュータ将棋とトッププロ棋士との対局
- (4) 50年史、記念会誌、記念論文、記念式典
- (5) 記念全国大会の開催 (事業報告済)

情報処理学会 29

平成22年度 重点活動 (1) (p.73)

～創立50周年記念事業～

論文誌・研究会活動のオンライン化

～ペーパレス化による価格の低減化と、
オンライン化による各種メリットの追及～

- 2008年4月 論文誌のペーパレス化
- 2008年9月 発行後2年の刊行物のオープンアクセス化
- 2009年4月 研究会活動のペーパレス化
- 2010年4月 NIIの協力を得て、低価格で購読可能な
総合デジタルライブラリの公開

情報処理学会 30

平成22年度 重点活動 (1) (p.73)
～ 創立50周年記念事業～

次世代型ハンドブックの刊行

オンラインで持続的に改訂が反映可能

- 2010年11月に一般公開予定
- さらに、他学会と連携した「総合学術辞典」を構築し、広く一般へ公開予定

平成22年度 重点活動 (1) (p.70)
～ 創立50周年記念事業～

コンピュータ将棋とトッププロ棋士との対局

4月2日 日本将棋連盟へ挑戦状

- 秋頃 女流プロ棋士との対局
- さらに、トッププロ棋士との対戦を目指し、ITの進歩への貢献と社会の関心を喚起する

学会の挑戦状と将棋連盟の対応



平成22年度 重点活動 (1) (p.65)
～ 創立50周年記念事業～

記念会誌、記念論文、50年史、式典

- 記念会誌 2010年に特集号を掲載
- 記念論文 記念式典で表彰
- 50年史 記念式典で配布
- 記念式典 2010年11月18日

平成22年度 重点活動 (2) (p.66)

JIPの海外投稿促進と国際化の推進

- 編集委員会の国際化
- JIP掲載料の2年間無料化

平成22年度 重点活動 (3) (p.65, 69, 72)

実務家の経験・知識の発露の場としての「デジタルプラクティス」の刊行推進

編集体制の充実

高度IT人材育成に向けた取組みの推進

資格制度の詳細設計の継続

5. 平成22年度収支予算

情報処理学会 37

平成22年度予算書 (p.77)

				(単位:千円)
		22年度	21年度	差異
経常増減	経常収益	663,457	707,289	-43,832
	事業収益	453,597	493,050	-39,453
	受取会費ほか	209,860	214,239	-4,379
	経常費用	775,910	782,073	-6,163
	事業費	679,216	710,478	-31,262
	管理費	96,694	71,595	25,099
	経常増減	-112,453	-74,784	-37,669
	経常外増減	1,836	0	1,836
	当期正味財産増減	-110,617	-74,784	-35,833

情報処理学会 38

収益減への財務対応 (p.83)

積立資産の有効活用

- ▶ 前期末に2億円相当を増額(総額7.9億円)
 - 本部事業関係積立資産:総額5.5億円
 - 標準化関係積立資産:総額2.4億円
- ▶ 用途をより具体化した積立資産の新設
 - 学術刊行物積立資産
 - 学術講習会積立資産
 - 人材育成積立資産
- ▶ 従来の積立資産の整理
 - 記念事業の終了に伴う記念事業積立資産の縮小
 - 用途具体化による公益目的事業積立資産の縮小

情報処理学会 39

当期予算:正味財産減少の主な要因

単位:千円
当期予算の正味財産増減 110,617 減

本部所管分: 51,199
 - 記念事業関係経費増 40,300 当期まで
 - デジタルプラクティス等推進経費増 7,500 来期まで予定
上記経費はいずれも積立資産を取り崩して充当する。

規格所管分: 59,418
 - 規格賛助収入減 17,500
 - 国際会議派遣経費増 26,500
 - 職員の一時増 10,000 当期まで予定
上記経費を含む48,000は積立資産を取り崩して充当する。

情報処理学会 40

前年度予算からの主な増減要因

[経常収益] 43,832 減 単位:千円
 事業収益減: 39,453 ほか
 - 論文掲載計画減 14,165 規格賛助口数減 17,500
 記念大会等参加収益減 8,466 ほか

[経常費用] 6,163 減
 - 規格国際会議派遣経費増26,500
 - 記念事業関係減 20,000 ほか
 (記念大会減・将棋プロジェクト計画減 40,000
 記念論文・記念史・記念式典増20,000)

[経常増減額] 37,669 減

情報処理学会 41

6. 会費滞納会員の扱い

除名 532名

情報処理学会 42

引続き 表彰等

- ・ 名誉会員
- ・ 平成21年度功績賞
- ・ 平成21年度論文賞
- ・ 平成21年度喜安記念業績賞
- ・ 平成21年度長尾真記念特別賞
- ・ 平成22年度役員改選
- ・ 法人移行に伴う定款の追加変更